

イスラエル経済月報（2020年6月）

在イスラエル日本国大使館（担当：経済班 栗田 宗樹）

<目次>

イスラエルの動き（主な報道）	2
主要経済指標.....	6
1. 経済成長率（GDP）	
2. 貿易(Export & Import of Goods)	
3. 失業率（Unemployment Rate）	
4. 消費者物価指数（CPI）	
5. 為替（Exchange Rate）	
6. 外貨準備高（Foreign Reserve）	
7. 主要株価推移（TA35）	
イスラエル 経済関係.....	10
COVID-19/スタートアップ ¹⁾ スタートアップが借入れに回帰	
COVID-19/マクロ経済 ²⁾ 失業手当を申請した69%がまだ失業中	
COVID-19/テクノロジー ³⁾ コロナ禍でのテクノロジー業界の人材市場	
日本-イスラエル 経済関係.....	13
イスラエル-アジア ⁴⁾ アジアへのゲートウェイは中国に限らない	
フィンテック/サイバーセキュリティ ⁵⁾ みずほ銀行とSCSKがBioCatch社と共同実証実験を開始	
デジタルヘルス ⁶⁾ Binah.ai社がシリーズBで1,350万ドル資金調達。SOMPOインターナショナルとGiTVも参加。	
靴/小売 ⁷⁾ Teva Naot社が愛知県に新店舗を開設予定	
自動車 ⁸⁾ KYBがREE社と提携	
イスラエルにおける展示会・国際会議等の予定（目次掲載は主要なもののみ）	17
医療機器 ⁹⁾ The 2 nd Medical Device Research & Development Summit（2020年10月19日、テルアビブ）	
モバイル ¹⁰⁾ Israel Mobile Summit 2020（2020年11月11日、テルアビブ）	
日本におけるイスラエル関連イベントの今後の予定（目次掲載は主要なもののみ） ..	23
NEW ¹¹⁾ ¹²⁾ ¹³⁾ Leading Israeli Trading Technologies for Capital Markets（2020年7月14日、オンライン）	
NEW ¹⁴⁾ ¹⁵⁾ オンライン国際セミナー-COVID-19イスラエルがもたらすコロナ後のビジネスチャンス（2020年7月21日、オンライン）	

※本資料は、報道や政府発表、企業発表等の一般公表情報を基に作成しております。

イスラエルの動き（主な報道）

（出典：報道）

- 1日 イスラエルのスタートアップは5月に3億ドルを資金調達。公表情報から Globes 紙が集計。2019年83億ドルに対し、今年は5月までで既に40億ドルを調達しているものの、5月の数字は2018年8月以来の小ささとなった。
- 1日 イスラエル電力公社は、コロナ禍による需要減少で歴史的に低価格で海外から調達した LNG の余剰分を、国内生産の天然ガスより安価にイスラエル国内に販売する。
- 1日 ハイファ大学は、イスラエルの VC fresh.fund と連携し、大学発スタートアップに投資する VC ファンドを組成。投資委員会には学生代表も参加する。
- 1日 インドの病院グループ最大手 Apollo は、医師の新型コロナウイルスの診断支援のため、イスラエル Zebra Medical Vision 社の CT スキャン読影 AI 技術を活用する。
- 2日 イスラエルの発電機メーカー Aquarius Engine 社は、アジアの電力網に繋がっていない地域への同社製品販売に関し、ノキアとパートナーシップを締結したと発表。
- 2日 イスラエルの大手 VC OurCrowd が、Pandemic Innovation Fund の組成を発表。新型コロナウイルス関連で急いで必要な技術に投資する。1億ドル規模を目指す。
- 2日 中国の電気自動車メーカー NIO 社は、モビルアイが開発したレベル4の自動運転システムを電気自動車に組み込み、イスラエルで実証事業を開始する。
- 2日 シュタイニッツ・エネルギー相は、2030年に電力消費の30%を再生可能エネルギー（主に太陽）でまかなう新計画を発表。現目標は17%。800億NISが必要。
- 3日 イスラエルのモバイルゲーム企業 Playtika 社が、NY証券取引所での企業評価額100億ドルでの上場に向け、投資銀行と契約。同社は月間2,700万人のアクティブユーザーを持ち、2010年設立、16年に中国の投資企業に買収されている。
- 3日 イノベーション庁は、ゲノム編集技術に関する産学医コンソーシアムの設立を承認。当該コンソーシアムは、18か月間で約1,000万ドルの助成金を受け取る。
- 3日 米クラウドデータ企業 NetApp 社がイスラエルのクラウドインフラマネージメント/経費削減企業 Spot 社を買収。金額は非開示だが、情報筋によると4.5億ドル。
- 3日 アリババがエルサレムに拠点を置く国際貨物マーケットプレイス企業 Freightos 社と提携。世界最大のデジタル国際貨物プラットフォーム構築を目指す。
- 4日 韓国 SK テレコムからイスラエルの医療画像企業 Nanox 社が2,000万ドルを追加調達。韓国支社開設も計画。同社の投資家には富士フイルムも含まれる。
- 4日 独 SAP はイスラエルの研究開発拠点を拡充する。同社は現在イスラエルの2カ所の拠点で約700名を雇用しているが、今回さらに数十名を採用予定。
- 6日 国際線復旧のめどが立たないことに抗議し、ベングリオン空港で働く労働者の労働組合が2時間のストライキを実行。同空港は新型コロナウイルスに係るガイドラインに沿った準備が済んでいるが、保健省が国際線再開に反対している模様。
- 7日 コロナ禍でイスラエル政府の債務超過が拡大中。2月末に対 GDP 比で3.1%だったが、5月末には6%まで拡大。中央銀行の予測では、年末には11.5%に達する。

- 7日 財務省はエル・アル航空に対し、4億ドルの債務の82.5%政府保証を2.5億ドル75%に下げ、代わりに増資される株式の政府による買取保証を提案。増資分を既存株主が引き受けなかった場合、政府の保有率は61%となり、実質国有化される。
- 7日 イノベーション庁は、3つの研究開発コンソーシアム（自動運転システム、先進素材、量子通信技術）に向けた3年間約4,300万ドルの予算を承認。
- 7日 StartupBlinkのStartup Ecosystem Rankings 2020で、国別でイスラエルが3位、都市別でテルアビブが7位にランクイン。また、新型コロナウイルス関連イノベーションでは、イスラエルが2位、テルアビブが5位となった。
- 8日 イスラエル航空工業（IAI）は、匿名の欧州の国に、ビジネスジェットを改修したスペシャルミッション航空機を供給する3.5億ドルの契約を締結したと発表した。
- 9日 エル・アル航空CEOは、経営悪化に関する支援策について政府との合意に至らない限り旅客便の再開はできないと、従業員宛のレターで表明した。
- 9日 証券庁（ISA）とイノベーション庁は、ISAのデータベースへのアクセスと各種の助言を受けられるパイロットプログラム“Data Sandbox”の採択企業5社を発表。
- 9日 スウェーデンの複数の政府機関とイスラエルのNPO Start-Up Nation Centralは、両国の企業や研究機関の連携を促すための予算200万ユーロのプログラムを開始。
- 9日 チェコの自動車メーカーのシュコダがパンデミックと戦うためのハッカソンを開催。19か国52チームの中から、3Dバーチャルショールームのコンセプトを出したイスラエルのMatter社が優勝した。今後、シュコダの支援を受けていく。
- 10日 スマホカメラでバイタルサインを計測できる技術を開発するイスラエルのデジタルヘルススタートアップBinah.ai社がシリーズBで1,350万ドルを調達。Maverick Ventures Israelがリードし、既存投資家のSOMPOグループとGiTVも参加。
- 10日 イスラエル電力公社（IEC）がRamat Hovav発電所を売却する入札を、イスラエルのShikun u'Binui Holdings社とEdeltech社のコンソーシアムが想定価格を大きく上回る42.5億NISで落札。中国港湾社を含むコンソーシアムは競り負けた。
- 10日 OECDの予測によると、イスラエルの2020年成長率は-6.2%。新型コロナウイルス第二波に襲われた場合は-8.3%となり、2022年まで回復は見込めないとする。
- 10日 ホロン工科大学が、世界初のデジタルヘルスでの学士号を今年秋に始まる年度から創設すると発表。既に高等教育評議会の承認を得ている。病院とも連携。
- 11日 台湾のイノベーション企業Innovation to Industry（i2i）が、イスラエルスタートアップの東アジア市場進出を支援する最大7,000万ドル規模のプログラムを開始。
- 14日 インターネット総合研究所がテルアビブ証券取引所での上場廃止の意向を表明。支配株主を含む株主が株式を上場市場から全て購入する意向を有しているという。2018年の上場以来、株価は40%低下していた。
- 15日 国家保険機構は、新型コロナウイルス感染拡大期間中に失業給付金を申請した約106万人のうち、約69%（約73.8万人）が依然として失業中とのデータを公表。
- 16日 ギリシャのミツオタキス首相及び6名の閣僚がイスラエルを訪問。ネタニヤフ首相と会談し、サイバー、農業、観光に関するMOUが締結された。ギリシャ及びキプロスへの空路再開を8月1日を目標として議論していることも言明された。
- 16日 バーチャル開催されたアメリカユダヤ人委員会の年次総会で、ポンペオ米国国務長官は、トランプ政権は中国を米国とイスラエルにとっての脅威とみていると発言。

- 16日 韓ヒュンダイ自動車グループ、蘭 VDL Group、イスラエル Tadiran and Taavura-Livnat グループが共同でイノベーションセンターを開設。スタートアップを支援。
- 16日 豪州とイスラエルに拠点を置く VC Square Peg Capital が 2.5 億ドルの新ファンドを組成したと発表。主な出資元は、豪州の年金企業とソフトウェア企業。
- 16日 世界経済フォーラム（WEF）が最先端技術を持つ世界のパイオニア企業 100 社に、イスラエルから 6 社を選出。中東アフリカ地域からの選出は、イスラエルが唯一。
- 16日 輸入依存解消に向け、イスラエル南部ステロットの工場で N95 マスクの生産開始。
- 17日 エル・アル航空が従業員の無給休暇を 7 月 31 日まで延長。3 月以来、従業員の 90%が無給休暇とされており、同社は現在貨物便を主力として運営されている。
- 17日 イスラエルの新型コロナウイルス対応の経済対策の規模が対 GDP 比で先進国最低であるとして、イスラエル内外のエコノミストが政府の対応を批判。
- 17日 イスラエルの NPO Start-Up Nation Central のレポートによれば、2019 年にイスラエルのフィンテック・スタートアップは史上最高の 18 億ドルを資金調達。
- 17日 イスラエルのリアルタイム AI 分析企業 CLEW 社が、新型コロナウイルス患者の重症化早期検知システムで、米国 FDA の承認を取得。
- 17日 米国ニュースチャンネル CNBC が選ぶ 2020 年の破壊的 50 社に、Lemonade 社や Healthy.io 社、Neteera Technologies 社等イスラエル発の企業 5 社が選出。。
- 18日 イズレール航空を所有する IDB Development 社は、元パイロットの団体から、9,000 万 NIS でイズレール航空を買収する提案を受けた。
- 18日 EU 議会がイスラエルとのオープンスカイ協定を可決。これにより、2013 年に締結された暫定協定が正式なものとして承認されることとなった。
- 18日 ドゥルーズ派の若者のハイテク産業への就業を支援するセンターが 7 月設立予定。
- 19日 イスラエルの太陽光発電企業 Meshek Energy 社がテルアビブ証券取引所に上場。企業評価額 2.35 億 NIS。270 のキブツやモシャブが所有する企業。
- 21日 紅海沿岸のエイラットへの鉄道延伸計画の政府による承認から 8 年、ベルシェバからの最初の建設セクションの計画が地方行政機関によって承認。予算は未承認。
- 22日 フリードマン駐イスラエル米国大使は、イスラエルが 5G やライトレールのような重大インフラで中国への扉を開放したままでは、パレスチナ西岸への主権適用に関するトランプ政権の姿勢にも影響を与えると警告。
- 22日 マイクロソフトがイスラエルの IoT サイバーセキュリティ企業 CyberX 社の買収を発表。金額は非開示だが、情報筋によると、1.65 億ドルとみられる。
- 22日 国防省の発表によると、2019 年のイスラエルの防衛品輸出は前年比 5%減の 72 億ドル。2 年連続減少。世界上位 10 か国のランクインは保っている。
- 23日 2020 年及び 2021 年の 2 か年予算の成立期限である 8 月 15 日に向け、連立政権内で議論が停滞。リクード党は 2020 年予算のみの成立を目指すべきとの立場。期限までに予算が成立しなかった場合、政権は自動的に解散し、再度の選挙となる。
- 23日 コロナ禍におけるイスラエルへの移住希望増加を受け、ユダヤ人移民を支援する Nefesh B'Nefesh はエル・アル航空と将来の航空便の座席を確保する契約を締結。
- 23日 イノベーション庁、運輸・道路安全省及びテルアビブの Ayalon 高速道路を運営する Netivei Ayalon 社は、スマート・パーキング、公共交通マネージメント等に関する複数の実証実験を 2 年間実施予定。

- 24日 イスラエルの大手靴製造・販売の Teva Naot 社が、愛知県に新たな店舗を開設予定。東京都と奈良県に計 3 店舗を持ち、去年は日本で 2,000 万 NIS の売上げ。
- 24日 イスラエルのビッグデータ分析 SQream 社がシリーズ B+で 3,940 万ドルを資金調達。Hadoop 等のデータベースの膨大な生データを高速で分析する技術を有する。
- 25日 政府は、国際的なキリスト教関連旅行客への依存度が大きいガラリヤ湖周辺の観光業に対し、約 1,450 万ドルの援助を決定。
- 25日 テルアビブ証券取引所は、代表的インデックス TASE35 の構成企業を 8 月に大きく変更すると発表。伝統的企業の代わりにテクノロジー企業を多数含める予定。
- 27日 イスラエル空港庁は、航空各社に対し、外国人の入国禁止とイスラエル人の入国後 14 日間の隔離措置が 8 月 1 日まで継続することを通知。
- 27日 米国調査会社 Startup Genome 社の年次報告書で、テルアビブ・エルサレムがスタートアップとイノベーションに魅力的なエコシステム世界 6 位にランクイン。
- 28日 イスラエルの医療技術 Healthy.io 社が米国の競合 Inui Health 社を 900 万ドルで買収。Healthy.io 社はスマートフォンを用いて自宅でできる検尿キットを開発。
- 28日 テルアビブ証券取引所は、投資家に上場企業からの開示書類や新株発行のスケジュール等各種情報を提供するサイト MAYA の英語版をリリース。
- 29日 フリーライセンスの音楽・ビデオクリップ・効果音等を提供するイスラエルのスタートアップ Artlist 社が 4,800 万ドルを資金調達。米国 KKR がリード。
- 29日 イスラエルのサイバーセキュリティスタートアップ Cynet 社がラウンド B で 1,800 万ドルを資金調達。BlueRed Partners がリードし、ドイツテレコム等が参加。
- 30日 7 月から再開する EU の外国人受入対象国にイスラエルは入らず。新型コロナウイルスの感染率の高まりを受けての措置。
- 30日 イスラエルのビッグデータ処理スタートアップ Upsolver 社が 1,300 万ドルをシリーズ A で資金調達。Vertex Ventures と Jerusalem Venture Partners がリード。
- 30日 イスラエルのサイバーセキュリティスタートアップ Hunters 社が 1,500 万ドルをシリーズ A で資金調達。マイクロソフトの CVC 等がリード。

主要経済指標

1. 経済成長率 (GDP)

- 2020年第1四半期の成長率は年率マイナス6.8% (二次推計)

中央統計局は、2020年第1四半期の成長率(二次推計)が年率マイナス6.8%だったと発表した。一次推計のマイナス7.1%からは上方修正だが、現在の計測方法となった1995年以来最悪の数字。

イスラエル政府が外出禁止令を出したのは3月半ばであり、第2四半期の数字はさらなる悪化が予想される。

出典：イスラエル中央統計局 (https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/DocLib/2020/171/08_20_17_1b.pdf)

報道Globes (<https://en.globes.co.il/en/article-israels-economy-contracted-by-68-in-q1-1001332506>)



2. 貿易 (EXPORT & IMPORT OF GOODS)

- 5月の貿易赤字は40億NIS。ハイテク関連製品の輸出は直近3か月で年率21.3%減。

中央統計局の発表によれば、2020年5月の物品輸入は167億NIS、物品輸出は127億NISであり、貿易赤字は40億NISであった。

ハイテク製品輸出は、直近3か月で年率21.3%減少。

(イスラエル中央統計局ウェブページのリンク切れにより、詳細なデータは入手不能)

出典：イスラエル中央統計局 (<https://www.cbs.gov.il/en/mediarelease/pages/2020/israel-foreign-trade-exports-imports-of-goods-may-2020.aspx>)

3. 失業率 (UNEMPLOYMENT RATE)

- 5月の失業率は4.2%だが、被用者のうち新型コロナウイルスが原因で一部でも休職している者の割合は24.4%にのぼる。

中央統計局は、2020年5月の失業率は4.2%であり、前月比0.3%増だったと発表。

労働参加率は61.6%で、前月比0.3%減。15才以上人口における労働人口は406.6万人、うち被雇用者数は389.5万人(男性202.5万人、女性187.0万人)となった。

中央統計局の定義では、雇用契約を維持したままの「休職者」は失業者に含まれない。2020年5月末時点で、被用者のうち一時的に仕事が全くない人は79.8万人で、前月比48%減。このうち、新型コロナウイルスが原因の人は68.4万人で、前月比46%減。被用者のうち一時的に仕事が週のうち一部でない人は66.6万人で、前月比34%減。このうち、新型コロナウイルスが原因の人は26.6万人で、前月比5%増。一時的に（週のうち全部又は一部で）仕事がないひとは、被用者全体の37.6%（前月比27.0ポイント減）を占め、新型コロナウイルスが原因の人は被用者全体の24.4%（前月比14.6ポイント減）となった（※もともと4月はユダヤ暦の大型連休があり、一時的に閉店する店舗等も多い）。

特に新型コロナウイルスによる休職者の割合が高い業種は、宿泊業・飲食業（64.4%）、芸術・娯楽・レクリエーション（50.5%）、その他サービス業（42.4%）、交通・倉庫・郵便（34.9%）、教育（32.3%）、管理・サポートサービス業（31.2%）。職種でみると、事務補助（45.8%）、サービス・営業（45.1%）、エンジニア・技術者・代理人・関連専門職（43.7%）で新型コロナウイルスによる休職者割合が高い。

出典：イスラエル中央統計局 (https://www.cbs.gov.il/he/publications/doclib/2020/saka0520m/intr_o_a_e.pdf)

4. 消費者物価指数（CPI）

● 5月期のCPIは0.3%下落

中央統計局の15日の発表によれば、2020年5月期の消費者物価指数は0.3%下落。0～0.2%の上昇を見込んでいた市場の予測を大きく裏切る結果となった。

特に価格下落が著しかったのは、生野菜（1.5%低）、食品（0.9%低）、家具・家庭用品（0.5%低）、交通費（0.5%低）。一方、特に価格上昇が著しかったのは、生果物（5.2%高）。

過去12か月間では1.6%下落。年初からだと0.7%下落で、イスラエル中央銀行が年間のターゲットレンジとしている1%～3%を大きく下回る。

中央統計局は、3-4月期の住宅価格指数も公表。2-3月期に比べて0.1%上昇した。前年同期比では3.5%上昇している。

出典：イスラエル中央統計局、報道 Globes (https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/Madad/DocLib/2020/169/10_20_169e.pdf)

(<https://en.globes.co.il/en/article-cpi-fell-unexpectedly-03-in-may-home-prices-up-1001332446>)

(https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/Madad/DocLib/2020/168/10_20_168e.pdf)

5. 為替 (EXCHANGE RATE)

● 6月の為替相場はシェケル高が進行、コロナ禍前の水準に

6月の為替市場は、上旬は世界的なドル安の影響を受け、シェケル高が進行。コロナ禍前の水準を回復した。

中旬は再びシェケル安となったが、下旬は再びシェケル高に。6月は一貫して1ドル3.50NISを水準で推移した。

中央銀行総裁は、シェケルのボラティリティが高まることを警告している。

出典：報道・グローブス紙

(<http://www.globes.co.il/en/market.tag>)

グラフ出典：中央銀行・6月のドルシェケル相場推移

(<https://www.boi.org.il/en/Markets/ExchangeRates/Pages/Chart.aspx?CurrencyId=3&DateStart=01%2F06%2F2020&DateEnd=30%2F06%2F2020&webUrl=%2Fen%2FMarkets%2FExchangeRates>)



6. 外貨準備高 (FOREIGN RESERVE)

● イスラエルの5月末の外貨準備高は1425億ドル。歴史的水準。

中央銀行による発表によれば、2020年5月末時点の外貨準備高は、前月比90億ドル増となる1425億ドルであった。現在、外貨準備高はGDPの35.5%を占める。

増加の要因は、中央銀行による外貨購入（19.2億ドル）、金融システムからの短期的ドル与信の吸収（7.0億ドル）、政府移転（51.5億ドル）、評価替え（16.9億ドル）。他方、民間移転（4.9億ドル）による準備高の減少も生じている。

出典：イスラエル中央銀行 (<https://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/7-6-20.aspx>)

7. 主要株価推移（TA35）

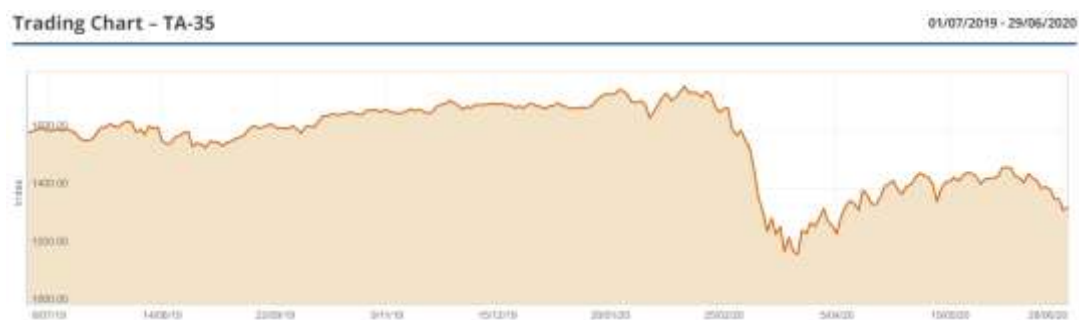
● 6月のテルアビブ証券取引所（TASE）関連ニュース

28日、投資家に上場企業からの開示書類や新株発行のスケジュール等各種情報を提供するサイトMAYAの英語版（<https://maya.tase.co.il/en>）をリリース。上場企業が任意で提出した英語の開示書類等もアップロードされる。

● 月間推移



● 年間推移



出典：テルアビブ証券取引所（<https://www.tase.co.il/en>）

COVID-19/スタートアップ° スタートアップが借入りに回帰

最近、多くのスタートアップが、これまで人気だったエクイティによる資金調達をやめ、往年の退屈な企業が好んだ古い方法に回帰している、銀行からの借入れだ。

企業は融資を受けたというニュースをシェアしたがらないが、業界の人の主張によると、新型コロナウイルス危機の開始以来、5億NIS（約1.44億ドル）の銀行融資がスタートアップによって利用されているという。これは、スタートアップ、特に若いスタートアップが負債を避けようとする傾向のあった時代の2倍の額に当たる。

3月以来、何十社ものイスラエルのテクノロジー企業が、平均300万ドルから500万ドル、時には最高5,000万ドルもの融資を受けている。非常にアーリーなステージの企業は、もっと穏当に、100万ドル程度の融資を受けている。より伝統的な企業とは異なり、テクノロジー企業に対する融資は、通常は返済期限が1~2年を超えないが、新型コロナウイルスによるリスクの高まりを受け、現在の返済期限はより短くなっている。年利は、企業規模やステージ、販売による売上げが既にあるかどうかにもよるが、平均6%であり、だいたい予想の範囲内だろう。ハイテク企業に対する融資のほとんどは、イスラエルのLeumi銀行のハイテク部門であるLeumiTech並びにSilicon Valley Bank及びKraus Capitalのイスラエル支社からなされている。

LeumiTechのCEO Yifat Oron氏によると、あらゆるステージ・種類のスタートアップがいま融資のメリットを見直しているという。こうした企業は、ダウンラウンドを避け、次のラウンドまで企業を持ちこたえさせるための資金を必要としている。「新型コロナウイルスの蔓延以降、企業はこれまで容易に調達できていた資本金には頼ることができないということを認識するようになった。もしファンドに資金があったとしても、投資までにはこれまでよりもずっと長い時間がかかる」

同氏の説明によると、これまでとは異なり、今やVCファンドはポートフォリオ企業に対し、資金源を多元化させ、これまでならできれば避けた方がよいと考えられていた融資を受けるように要請している。

財務管理企業Made Finance社のCFO Gilat Bar-Gutman氏は、今回の危機によって同社の顧客（ほとんどはスタートアップである）の負債への見方が変わってきていると認めた。彼女によると、昔は、万一成長が予想より速くなかった際に早く返済を求められるかもしれないため、投資家はスタートアップに融資を受けさせたくなかった。「昔は、融資を受けることを考えている顧客がいても、投資家がそれに反対していた。けれど今は、ファンドのほうが、次のラウンドを遅らせるための手段として融資をみている。このことは、投資ラウンドを完了したばかりの企業にも当てはまる。」

しかし、銀行では、資金を得るためには資金が必要となる。融資は、最低6か月は自らを支えることのできるだけの資金を持っている企業にのみ選択しとなる。そうでなければ、与信は承認されないだろう、と同氏は言う。Oron氏もまた、資金を使い尽くしてしまった企業にとっては融資は解決策にならないと強調する。

出典：報道 Calcalist

(<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3833213,00.html>)

COVID-19/マクロ経済 失業手当を申請した 69%がいまだ失業中

国家保険機構が公表した新たなデータによると、新型コロナウイルスの蔓延期間中に失業手当を申請したイスラエル人の約 69%が、いまだ失業中である。この数字は、4 月 19 日以降の政府による暫時的な、そして今やほぼ完全な経済再開を考えると、高いままである。

新型コロナウイルスの蔓延直前、蔓延中、制限緩和以降に失業手当の給付を国家保険機構に申請した人は計 106 万人にのぼる。そのうち、31%に当たる約 325,500 人が既に仕事に戻っている一方、738,000 人近くが最後の集計時点で引き続き給付を申請している状態にある。

今回の数字を受け、イツィク・シュムリ労働・福祉及び社会サービス大臣（労働党）は、失業給付をさらに数か月受給できるようにすることを指示した。いわく、福祉システムは「さらに数十万人規模の個人を吸収することはできない」。

出典：報道 Calcalist

(<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3833213,00.html>)

COVID-19/テクノロジー コロナ禍でのテクノロジー業界の人材市場

イスラエルのテクノロジー企業のほぼ半数が過去数か月で給料カットを行い、20%以上が従業員を無給休暇としたことが、イノベーション庁とコンサル企業 Zviran 社の調査で判明した。

回答企業 180 社の約 46%が 4～5 月の間に給与を減額したと回答した。これは、3～4 月期の 36%と比較して増加している。カット幅はほとんどの場合小さく、29%の企業ではカット幅は 15%未満、28%の企業は 10%未満のカットである。約 155 社の企業では、給与カットとあわせて労働時間も短縮している。また、約 22%の企業が危機の間に従業員を無給休暇とし、13%の企業では解雇を行っている。

Zviran 社社長の Sarig Gafny 氏は説明する。「テクノロジー市場での給与は大きくは落ちていない。給与をカットした企業の割合は大きいですが、一方で労働時間も減らしているため、テクノロジー業界における給与が本当に下がったとは言えないだろう。」

危機にあっても、採用を続ける企業がある一方、78%の企業は 4～5 月の間に新規採用を停止又はスローダウンさせたと回答した。危機前に計画していたとおり採用を続けている企業は、調査対象企業の 5 分の 1 にすぎない。

イノベーション庁の社会的課題部門長 Naomi Krieger Carmy 氏は述べる。「他の分野と比較すると、テクノロジー業界は比較的強さを見せており、レイオフも無給休暇も少なく、深刻な状況からはほど遠い。業界として機能し続けている。しかし、多くの採用プロセスが停止又はスローダウンし、前に進むことへの懸念が広がっていることからわかるように、不確実性は大きい。多くの企業が瀬戸際にある。」

テクノロジー人材の採用に特化した企業 GotFriends 社の別の調査によると、以前採用を延期していた企業の 70%が 5 月の間に新たな従業員の採用活動に戻ってきているという。ただしそのやり方は危機前より縮小したものとなっている。同社の調査は、500 社の

2,200 の採用プロセスのデータに基づいている。同調査によれば、昨年と比較すると、給与は実は上昇している。5 月期の新規採用には平均して 32,500NIS（約 9,450 ドル）の給与がオファーされており、前年同期の 28,500NIS（約 8,280 ドル）と比較して増えている。

市場の不確実性を示す別の重要な変化は、シニアなポジションへの応募が 40%増えていることだ。CEO や開発マネージャー、その他のトップマネージャーが募集に対して履歴書を送っているのだ。これは危機前には珍しいことだった。

「自分のスタートアップが成功するかどうかはわからない、取締役会の決定に納得できない、資金調達ができるかわからないというシニアマネージャーが増えてきている」と、GotFriends 社 CEO の Shiri Vax 氏は説明する。

加えて、同社によると、テクノロジー業界の人材募集が埋まるまでにかかる時間が、危機前の 65 日から 35 日へと、ここ数ヶ月で約半分になっているという。同氏は述べる。

「一つのポジションに対し多数の候補者がいる。彼らは質の高いシニアな候補者で、しかも自宅で働いているので採用プロセスにより対応しやすい。採用活動を行っている企業が少ないので、応募者も検討すべき選択肢が少なく、そして選考プロセスそのものも大部分オンラインで済むのである。」

テクノロジー業界もパンデミックを無傷で通過しているわけではないだろう。しかし、イノベーション庁のチーフ・ストラテジー・オフィサーの Hagay Levin 氏は、同業界には引き続き多くのチャンスがあり、危機が終われば成長を続けると信じている。「危機に突入した際、専門性の高い従業員はかなり不足していたため、企業は今が採用のチャンスだととらえている。非熟練労働者やマイノリティ、高齢者のように、危機の前に職探しをしていた人たちにとっては、今の方がより厳しいだろう。しかしながら、テクノロジー業界は高給なポジションを主導しており、危機が終わったときに成長する最初の業界はテクノロジー業界である。したがって、テクノロジー業界へのキャリアチェンジを考えている人は、引き続きそのまま真剣でいてほしい、チャンスはここにあるのだから。」

出典：報道 Calcalist

(<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3835937,00.html>)

日イスラエル経済関係記事

イスラエル-アジア アジアへのゲートウェイは中国に限らない

近年、東アジアからイスラエル・スタートアップへの投資を巡る議論は、中国一国に集中していた。巨大な中国市場はスケールアップを狙う野心的なスタートアップにとって魅力的な売上と投資機会を提供してくれる一方、状況は複雑なものとなっている。激しい米中貿易紛争は、二つの経済大国から投資を受けるという選択肢を、どちらか一方からのみという状況に大きく変えてしまった。知的財産の剽窃に関する不満と、イスラエルのプロジェクトに対する中国の投資を制限すべきだという米国からイスラエル政府への強い圧力とが、さらに関係をややこしくしている。

しかし、たとえ中国との関係についてたまたま雑音が少なかったとしても、東アジアでのイスラエル・スタートアップのチャンスは眠れる獅子一国に限られるものではない。イスラエルの起業家にとり、東アジア全域で新たなチャンスが増えているのだ。アジアの代わりの上陸地点としては、日本から韓国、台湾、香港、シンガポールまで、幅が広い。

Harel-Hertz Investment House による最新のレポートによれば、イスラエル企業への日本からの投資は近年急増している。投資件数は、2001~09年の62件から2010~19年の170件へと、過去10年でおよそ3倍になった。昨年だけでも、イスラエル企業が日本企業から投資を受けた件数は52件にのぼる。金額で見ると、増加はさらに印象的だ。2001~09年では日本企業はイスラエル企業に約3.72億ドルを投資したが、次の10年での投資額は約68億ドルである。主だった案件としては、2016年の横浜タイヤによるAlliance Tire Group社の12億ドルでの買収や、田辺三菱製薬による製薬企業Neuroderm社の11億ドルでの買収である。

Herzog, Fox & Neeman 法律事務所のアジア部門長 Gilad Majerowicz 氏は述べる。「イスラエルスタートアップにとって、米国は引き続き、そしておそらく今後もNo.1を維持し続けるだろう。しかし、その次はどこか。もし、中国とのビジネスは難しくなっているがアジアが巨大市場だと認識しているのなら、アジア市場を攻めるために組むべき新たなパートナーを見つける必要がある。アジアは米国よりもずっと大きな市場である。」

同氏によると、2014年にイスラエルと日本が包括的なパートナーシップを結ぶ意図を表明して以来、両国間の経済関係は急増している。投資家にとって最近の注目分野は、自動車、デジタルヘルス、サイバーセキュリティ、フィンテック、アグリテックである。同氏の説明によれば、「日本企業が国外のスタートアップに投資するという現象自体が新しいもので、成長を志向するアベノミクスの下でほんの数年前にさかのぼれるにすぎない。今日では、投資の約10%がイスラエルに向かっており、欧州にはほとんど向かっていない。」という。同氏は、さらに、イスラエルと東京を結ぶ直行便の開始が投資範囲を拡大させるために「不可欠」だと付け加えた。

同氏はまた、日本企業とビジネスをする際には、戦略的パートナーシップを築くための（日本企業の）特徴である極めて徹底したデューデリジェンスに我慢よく耐えることが重要だと強調した。イスラエルスタートアップがその時間を待ち、日本企業の信頼を得ることができれば、「想像もできなかったような場所にたどり着ける」ということだ。

出典：報道 The Jerusalem Post

<https://www.jpost.com/jpost-tech/the-gateway-to-asia-stretches-beyond-china-for-israeli-innovators-632847>

証実験を開始

みずほ銀行と SCSK は、BioCatch 社の行動的生体認証技術（※）を用いた金融詐欺の防止に関する共同実証実験を 2020 年 4 月から開始した。

昨今、セキュリティベンダーのレポートでは、非常に巧妙な金融詐欺がグローバルに展開されていることが明らかにされてる。金融詐欺の手口はより巧妙化し、大小問わず全ての規模の金融機関が攻撃の標的になっており、常に最新のテクノロジーを用いた対策が求められている。

BioCatch 社は、イスラエル・テルアビブを本社とし、2011 年に設立された IT スタートアップ企業。AI を活用した行動的生体認証のプラットフォームを提供するリーディングカンパニーで、ユーザー特有の行動に関するデータを蓄積・分析し、不正なアカウント開設や取引などを検出している。米国の金融機関を中心に多くの導入実績を持ち、米国、欧州で数々のアワードも獲得している。

みずほ銀行のバンキングアプリケーションを模した、疑似アプリケーションに BioCatch 社のテクノロジーを実装し、複数のテスターで送金シナリオを実行することで、なりすまし対策およびその他金融詐欺の対策ソリューションとしての有効性を分析、検証する。

実証実験は、2020 年 4 月から 2020 年 6 月の予定で、主に、みずほ銀行デジタルイノベーション部米州室および SCSK の米国拠点である SCSK USA 社シリコンバレーオフィス間で開始した。

- 各社の役割

- ・みずほ銀行：なりすまし対策およびその他の金融詐欺の対策ソリューションとしての有効性の分析。
- ・SCSK；疑似バンキングアプリケーションの開発、BioCatch 社のテクノロジーの実装、各種機能の確認およびテストシナリオの実施。
- ・BioCatch 社；行動的生体認証プラットフォームの提供および SCSK に対する技術サポートの提供。

みずほ銀行と SCSK は、共同実証実験の結果をもとに、金融詐欺対策として AI を活用した行動的生体認証ソリューションの早期導入を目指す。

出典：プレスリリース

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20200529release_jp.pdf

デジタルヘルス **BINAH.AI 社がシリーズ B で 1,350 万ドル資金調達。 SOMPO インターナショナルと GITV も参加。**

AI を活用したビデオベースの一般ヘルスケア・健康モニタリングツールを提供する Binah.ai 社（以下「Binah 社」）は、シリーズ B で 1,350 万ドルの資金調達に成功したことを発表した。今回の投資資金によって、Binah 社の野心的なロードマップを加速化させ、バイタルサインのモニタリングソリューションに対する世界市場の需要の増大に呼応して売上とマーケティングの取組を増加させていくことを目指す。

今回の投資ラウンドは、Maverick Ventures Israel がリードし、シードラウンドにも投資している Esplande Ventures, SOMPO インターナショナル, グローバル IoT テクノロジベンチャーズ (GiTV) 及び iAngels が参加した。

Binah 社は業界のグローバルな専門家である David Maman 氏, Konstantin Gedalin 氏, Michael Markzon 氏が 2016 年に創業。どこの誰でも基礎的なヘルスケアサービスにアクセスでき、健康と幸福をコントロールできるようにすることをミッションとをしている。受賞歴もある同社のソリューションは、バイタルサインを手軽に計測することを可能とする、しかも世界中で 50 億人以上が持っているデバイス、つまりスマートフォンのカメラによって。

出典：プレスリリース

(<https://www.binah.ai/news/series-b-financing/>)

靴/小売 **TEVA NAOT 社が愛知県に新店舗を開設予定**

靴を製造・販売するイスラエル最大手の Teva Naot 社が、愛知県に新店舗を開設するために約 100 万 NIS を投資し、日本での事業を拡大する。

同社 CEO の Michael Illouz 氏は述べる。「当社は現在ブランドの名前を冠した店舗を東京都に 2 店舗、奈良県に 1 店舗有している。昨年での日本での売上げは約 2,000 万 NIS である。」

同社は日本人女性向けのファッション靴を約 100 モデル販売している。近年では、伝統的な着物の装いに合うように特別に仕立てたサンダルを販売することに成功しており、日本で 8 万足以上を販売している。

出典：報道 The Jerusalem Post

(<https://www.jpost.com/israel-news/teva-naot-opens-fourth-branch-in-japan-632677>)

自動車 KYB が REE 社と提携

REE Automotive 社と KYB は、将来実用化予定の電気自動車（EV）プラットフォーム向けのサスペンション機構を開発するため、戦略的パートナーシップを結ぶことを発表した。自動車部品ティア 1 サプライヤー、KYB のセミアクティブおよびアクティブサスペンション技術は世界最先端であり、REE 社が開発した次世代 EV プラットフォームの性能向上に大きく貢献することが期待される。この新プラットフォームは高い設計自由度を特徴としており、低コストで拡張性に優れた e モビリティのためのソリューションを提供する。EV プラットフォームの技術では先駆的な企業である REE 社と、油圧機器の世界的大手メーカーである KYB の高度なノウハウを組み合わせることにより、EV におけるデザイン革新を実現し、人、モノ、サービスの移手段に大きな変革をもたらすことが見込まれる。

両社のパートナーシップは、REE 社のグローバルな生産能力をさらに増強することになる。また、REEcorner™は駆動系部品を全て（ステアリング、ブレーキ、サスペンション、電気モーター）をホイール内に収めるが、パートナーシップにより、このアーキテクチャソリューションにおけるサスペンション技術を一段と高めることになる。REEcorner™は、完全にフラットなプラットフォームである REEboard™を組み合わせることで、非常に高い設計自由度を実現すると同時に、性能や安全性を高め、ラストマイル配送から長距離大量輸送に至るまでのあらゆる物流手段にモジュラー形式で適合させることが可能となる。

KYB にとり、今回のパートナーシップは、EV プラットフォーム開発を目的とした初めてのテクノロジー企業との正式な協業となる。KYB AC 事業本部技術統括部長の榎本一憲氏は、「KYB は高度なサスペンションシステムの開発と製造において経験豊富である。将来のモビリティ・エコシステムのニーズを支えるサスペンションサブシステムの開発を通じて REE 社と提携し、革新的な EV の将来ビジョンを共有できることが楽しみである」と述べた。

REE 社の共同創設者兼最高経営責任者であるダニエル・バレル氏は、「当社が厳選した戦略的パートナーで形成される自動車関連事業者のグローバルネットワークに KYB を迎えられて嬉しく思う。今後、世界トップクラスのサスペンションシステムに関する知見を得ることができるようになる。KYB の技術力は、次世代 EV アーキテクチャの急速な発展において重要な役割を果たすことになるだろう。完全にフラットで拡張性のあるモジュラー化されたプラットフォームにより、一から見直した電気自動車を開発し、e モビリティの未来を担っていく」と語った。

REE オートモーティブ社について：次世代 EV プラットフォーム - e モビリティの未来を担う

出典：プレスリリース

(<https://jp.prnasia.com/story/46118-3.shtml>)

イスラエルにおける展示会・国際会議等の予定

※イベント会議の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。

※新型コロナウイルスの影響により、今後、開催中止・規模縮小・オンライン開催への変更が実施されるイベントも予想されますので、参加の検討に当たっては、各イベントのウェブサイト等をご確認ください。

※3月12日より、イスラエル政府の措置により、外国人のイスラエルへの入国については、生活の拠点がイスラエルにあり、イスラエルにおいて自宅検疫（隔離）措置を取ることができることを証明できた場合に限り、入国が許可されます。当該証明は、申請者の滞在地における代表事務所（在日本イスラエル大使館等）に申請ください。

※イスラエルへの来訪計画を立てるに当たっては、当館 HP・イスラエル保健省 HP 等、最新情報をご確認ください。

当館 HP 関連情報 https://www.israel.emb-japan.go.jp/itpr_ja/anzen_jouhou.html

イスラエル保健省関連情報 <https://govextra.gov.il/ministry-of-health/corona/corona-virus-en/>

※日本からお越しになる方には、現地情勢のブリーフィング等、各種サポートをさせていただきますので、御連絡ください。ぜひ大使館にもお立ち寄りください。

AI FUTURE OF AI（2020年7月28日（オンライン）、10月21～22日（テルアビブ））

AIに関する国際カンファレンス・展示会。メディア及びイベント企画の People & Computer が主催し、今回4回目の開催で、うち1回はベルリンで開催。1,500人の参加者、300社以上のスタートアップ、500件以上のB2Bミーティングを見込む。

<https://www.futureofai.com/>

日程変更！ HR INNOV8 WORK（2020年8月11日（オンライン）、10月21～22日（テルアビブ））

HR及び未来の働き方に関するイベント。今回第2回開催。メディア及びイベント企画の People & Computer が主催し、1,000人の参加を見込む。

<https://www.innov8work.com/>

日程変更！ SAAS SAAS TIGER（2020年8月12日（オンライン）, 10月21～22日（テルアビブ））

SaaS分野における成長を目指し、関係する営業、製品開発、投資、ベンダー等を巻き込んだ包括的なイベント。メディア及びイベント企画の People & Computer が主催し、700人の参加を見込む。

<https://www.saastiger.com/>

半導体 CHIPEX2020（2020年9月15～16日, テルアビブ）

イスラエルの半導体産業の年次イベント。イスラエルのハイテクに関するメディアである Advanced System Group が Semiconductor Industry Association の協力を得て主催。ベンダーによる展示、技術的なカンファレンス、エグゼクティブ・サミットの3本柱から構成される。

<http://www.explace.co.il/?CategoryID=1043>

REACT REACT NEXT 2020（2020年10月12日, テルアビブ）

JavaScriptのフレームワークである React に関するイベント。React Native, Redux, MobX 等について議論する。Reactの初心者も上級者も対象とする。750名の参加者を見込む。

<https://react-next.com/>

電機 RAX（2020年10月13～15日, テルアビブ）

電気製品、制御系、計装、自動化、空気圧工学、照明システム、エネルギー・省エネに関する展示会。今回が26回目の開催となる。

<https://www.stier.co.il/rax/en/>

技術移転 THE 6TH BIENNIAL CONFERENCE OF ISRAEL'S TECHNOLOGY TRANSFER ORGANIZATION（2020年10月19日, テルアビブ）

イスラエルの主要大学・研究機関の技術移転機関からなる Israel Tech Transfer Network (ITTN) による隔年のカンファレンス。

<https://www.stier.co.il/ittn/>

医療機器 THE 2ND MEDICAL DEVICE RESEARCH & DEVELOPMENT SUMMIT (2020年10月19日, テルアビブ)

医療機器（ハードウェア及びソフトウェア）に特化したカンファレンス。今回は、最先端のR&Dの方法論やツールを特集。

<https://www.stier.co.il/mdr-d/>

マシンビジョン ISRAEL MACHINE VISION CONFERENCE (IMVC) 2020 (2020年10月29日, テルアビブ)

マシンビジョンに関するカンファレンス。自動車, 防衛, 医療機器, 印刷, ゲーム産業等のアルゴリズム開発者, データサイエンティスト, エンジニア, プログラマー等の参加を想定している。今回11回目の開催。

<https://www.imvc.co.il/>

モバイル ISRAEL MOBILE SUMMIT 2020 (2020年11月11日, テルアビブ)

モバイルアプリ, ゲーム, アドテックに関する国際イベント。カンファレンスの他に, スタートアップコンテストも開催され, 希望者には1対1ミーティングもセッティングされる。

<https://www.israelmobilesummit.com/>

モビリティ SMART MOBILITY SUMMIT 2019 (2020年11月(日付未定), テルアビブ)

イスラエル首相府が先導する「燃料選択及びスマート・モビリティ・イニシアチブ」により進められているイベント。今回で8回目を迎える。イスラエルの交通関連スタートアップの展示やセミナーが開催予定。

<http://www.fuelchoicessummit.com/>

UX UX SALON 2020 (2020年秋, テルアビブ)

UXデザイナーによるコミュニティであるUX Salonの年次イベント。ネットワーキングと講演を目的とする。

<http://2020.uxsalon.com/>

スタートアップ° 2021 OURCROWD GLOBAL INVESTOR SUMMIT

(2021年3月4日, エルサレム)

エルサレムのクラウドファンディング型 VC である OurCrowd による年次イベント。OurCrowd の投資先を中心としたスタートアップと投資家が一堂に会する大規模なイベント。2019 年は 186 か国から 23,000 人の登録があったとされる。

<https://summit.ourcrowd.com/>

本年中止！日程変更！バイオ MIXIII BIOMED (2021年5月11~13日, テルアビブ)

ヘルスケアやライフサイエンスの将来について議論する国際会議・展示会。今年は長寿命の中での QOL をテーマに, 医療機器, バイオフィーマ, デジタルヘルス, 診断分野にフォーカスする。

<https://kenes-exhibitions.com/biomed/>

本年中止サイバ-セキュリティ CYBERWEEK (2021年6月20~6月24日, テルアビブ)

テルアビブ大学が主催するサイバーセキュリティに関する大規模イベント。一週間にわたり, メイン会場での学術会議に加え, ラウンドテーブルやパネルディスカッションなど多様なサイドイベントが開催される。

<https://cyberweek.tau.ac.il/>

本年中止！ナノテク NANO.IL.2021 (2021年10月4~6日, エルサレム)

ナノテクに関する国際カンファレンス・展示会。マテリアル, エレクトロニクス, 光学, 医療, 防衛, 航空, 半導体等の分野を対象に, 企業, 投資家, 大学等からの参加者を想定している。

2021 年は「3D Meets NANO」という特別シンポジウムも開催される。

<https://www.nanoilconf.com/>

建設・不動産 TLV CONSTECH & PROPTECH 2020 WEEK（時期未定）

建設・不動産技術に関するセミナー・展示会・野外デモンストレーションイベント。イスラエル輸出国際協力機構と経済産業省が主催し、今回初開催。希望者には B2B ミーティングも設定される。

<https://tlvconprop.com/>

デジタルヘルス DIGITAL HEALTH.IL（時期未定）

デジタルヘルスに関するカンファレンス。スタートアップのコンテストも開催される。EY, ARC（シェバメディカルセンターイノベーションセンター）, Israel Advanced Technology Industries が主催。過去 5 年では、毎回 700 名以上の参加者があった。

<https://digitalhealth-il.com/>

アクセシビリティ ACCESS ISRAEL'S 8TH INTERNATIONAL CONFERENCE ON THE FUTURE OF ACCESSIBILITY（時期未定）

障がい者や高齢者にとってのアクセシビリティ向上を目指す N P O が主催する国際カンファレンス。

<https://aisraelcon.org/en/>

エレクトロニクス NEW TECH 2020 EXHIBITION（時期未定）

ハイテク分野に関する大規模展示会で、150 社以上が展示、数千人の来場者を見込む。対象分野は、クリーンルーム装置、電子光学品、レーザー、光ファイバー、レンズ、カメラ、試験用機器、プリント基板、筐体、電子機械器具、周辺機器、組込みシステム、モーター、ロボティクス、通信機器等。

<https://www.new-techevents.com/new-tech-exhibition/>

光学 OPTO TECH 2020（時期未定）

上記 New Tech 2020 Exhibition のサイドイベントとして開催される、電子光学品に特化したイベント。

<https://www.new-techevents.com/opto-tech/>

インダストリー- 4.0 **INDUSTRY 4.0 – SMART FACTORY**（時期未定）

上記 New Tech 2020 Exhibition のサイドイベントとして開催される，インダストリー 4.0・スマート工場関連に特化したイベント。IoT, 自動化・ロボティクス, M2M, AI, サイバーシステム, クラウド等を対象とする。

<https://www.new-techevents.com/industry-4-o-smart-factory/>

イノベーション **LAHAV EXECUTIVE EDUCATION**（通年，テルアビブ等）

テルアビブ大学のビジネススクール Lahav Executive Education Coller School of Management が実施するイノベーションを学ぶツアー。概ね 1 週間のプログラムで，個別のニーズに応じたイノベーションツアーを実施。

<https://www.lahav.ac.il/en/home>

日本におけるイスラエル関連イベントの今後の予定

※イベント会議の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。

NEW **フィンテック** LEADING ISRAELI TRADING

TECHNOLOGIES FOR CAPITAL MARKETS (2020年7月14日、オンライン)

資本市場取引に特化したイスラエルのソリューションを紹介。希望者には個別会議もアレンジされる。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_GvXE0In-TSyFDNNC6w9f8Q

NEW **イノベーション** オンライン国際セミナーCOVID-19 イスラエルがもたらすコロナ後のビジネスチャンス (2020年7月21日、オンライン)

イスラエルへの投資や日本企業とのブリッジを行うコランダム・イノベーションが主催。イスラエルのスタートアップ・エコシステム及び、そこにいかに参入するか、どのように自社の事業に取り込むかをテーマとする。

https://www5.jetro.go.jp/newsletter/dnc/2020/Corundum_Webinar_Invitation_July_21_2020.pdf